

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	環境戦略推進事業				事業番号	010-055	
担当部署名	環境局	局	カーボンニュートラル推進部	部	環境政策課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(3)ゼロカーボンシティの推進	
			有	取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築				
		寄与するKPI	有・無	指標名	市域の温室効果ガス排出削減量（2013年度比）				
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025		有	現状値	14.1%(2017年度)		目標値	19.0%(2025年度)	
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール12つくる責任つかう責任		ターゲット	12.2,12.5	
			有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進				
	寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量					
		有	現状値	617g(2022年度)		目標値	628g(2025年)		
2	関連計画			堺環境戦略					
3	事業開始年度			令和 3 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度	
4	実施根拠			—					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	市民、環境技術を有し海外展開意向のある市内事業者	対象数	単位
			804,163	人
7	事業の目的	堺環境戦略に掲げる「全ての人が幸せ（Well-being）に暮らす、持続可能な環境イノベーション都市」の実現に向けて、ビジョンの発信、ナッジ※等を活用した行動変容の促進、海外等他都市との連携強化など先導的な取組を推進し、環境都市ブランドの構築を図る。 ※ナッジ…人々が自分自身や社会にとって、より良い選択を自発的に取れるよう手助けする政策手法		
8	事業内容	・市民のライフスタイルの脱炭素化を図るため、スマートフォンアプリを活用して環境行動の実践に対してポイントを付与する「堺エコライフポイント事業」を実施。 ・環境施策におけるナッジ等の活用を推進するため、環境局職員による局内プロジェクトチーム「堺市環境行動デザインチームSEEDs」を運営し、ナッジを活用した取組事例の創出等を実施。 ・環境分野における国際都市間協力を推進するため、環境省「脱炭素社会実現のための都市間連携事業」の採択を受け、ベトナム・ホーチミン市（旧バリアンタウ省）及びベトナム・ダナン市と脱炭素都市実現等に向けた連携事業を実施。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	フェリカポケットマーケティング株式会社等		
10	公民連携・協働事業	企業・団体と連携して「堺エコライフポイント事業」を実施		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	堺エコライフポイント事業によるCO ₂ 削減量	t-CO ₂		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	500	740	—	—
			実績値	648	826		
			達成率	130%	112%		
当該指標を選定した理由	KPIの達成に直接寄与するため。なお、本指標に係る取組は令和7年度をもって終了したため、令和8年度以降は「ナッジを活用した環境取組の実施」を成果指標として設定する（令和8年度目標：3件、令和12年度目標：3件）。						
目標値の設定根拠・算出方法	事業開始時（令和4年度）に設定した削減目標（740t-CO ₂ ）を令和7年度で達成するよう段階的に各年度の目標値を設定						
12	活動指標	単位		実績		目標	
	堺エコライフポイントアプリの登録者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	6,500	10,000	—	
			実績値	9,295	12,971		
			達成率	143%	130%		
当該指標を選定した理由	環境行動の実践を働きかける対象が増えることで、CO ₂ 削減量等の向上につながるため。なお、本指標に係る取組は令和7年度をもって終了したため、令和8年度以降は「SEEDsメンバーによるミーティングの年間参加者数（累計）」を活動指標として設定する（令和8年度目標：106人）。						
目標値の設定根拠・算出方法	他市の先行取組事例を踏まえ、堺市との人口比で按分した登録者数を目標値として設定						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		環境戦略推進事業				事業番号		010-055					
Ⅲ. 投入量													
事業コスト													
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）													
		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度					
		決算		決算		当初予算		当初予算					
事業費（a）		15,324		6,447		9,918		8,007					
13	財 源 内 訳	国支出金		6,402		0		0					
		府支出金		0		0		0					
		市債		0		0		0					
		その他（寄附金、基金繰入金等）		1,365		6,447		9,918					
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0					
		一般財源		7,557		0		0					
14 人件費（b）		19,440		26,325		25,560		25,560					
15 年間経費（c）=(a)+(b)		34,764		32,772		35,478		33,567					
事業費の内訳													
（単位：千円）													
16	事 業 費 内 訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度	事業費	うち 一般財源	
		SEEDsによるナッジ活用の推進		R7	決算	175	0			R7	決算		
				R8	予算	807	0			R8	予算		
		堺エコライフポイント事業		R7	決算	7,032	0			R7	決算		
				R8	予算	68	0			R8	予算		
		国際都市間協力の推進		R7	決算	494	0			R7	決算		
				R8	予算	1,322	0			R8	予算		
		会計年度任用職員報酬等		R7	決算	0	0			R7	決算		
				R8	予算	3,242	0			R8	予算		
		その他（旅費、郵便料等）		R7	決算	306	0			R7	決算		
				R8	予算	133	0			R8	予算		
		Ⅳ. 事業の効率性											
単位当たり経費													
17	区 分		単位		令和6年度		令和7年度						
	①	堺エコライフポイント事業によるCO ₂ 削減量		t-CO ₂		648		826					
	②	上記①にかかる年間経費		千円		19,330		21,252					
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位		29,830		25,729					
算出についての説明等													
Ⅴ. 評価													
費用対効果に係る所見													
18	堺エコライフポイント事業について、令和7年度の年間経費は増加したものの、アプリ登録者数の増加によってCO ₂ 削減量も大きくなり、費用対効果は更に向上した。令和7年度に本事業を終了したが、令和8年度はこれまでに得られたデータや知見を既存の環境施策やナッジ等による環境行動変容施策に活用することで、市民の環境行動変容を促進しライフスタイルの脱炭素化を図る。												
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）												
19	・堺エコライフポイント事業の実施により、基本計画2025のKPIである「地域の温室効果ガス排出削減量（2013年度比）」及び「1人1日当たり家庭系ごみ排出量」の達成に直接寄与した。 ・堺市環境行動デザインチームSEEDsの活動として、令和7年度は庁内外へのナッジの活用支援等を実施した。今後も環境分野でのナッジ活用を進めることで、堺市基本計画2030等で定める各KPI達成への定量的な寄与につなげる。 ・環境分野における国際都市間協力の推進は、KPIの達成に直接寄与するものではないが、海外都市や市内企業と連携した取組を行うことで、地域の枠組みを超えた脱炭素の推進に貢献した。												
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）												
20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業は堺市基本計画2025の重点取組における施策を具体的に推進する必要性の高いものとして、令和3年度から令和7年度に至るまで、ナッジやポイント手法を活用した環境行動変容の促進、海外等他都市との連携強化など先導的な取組を実施した。国の補助金や交付金、企業等からの寄附等により適宜財源を確保しながら効率的な事業運営に努めた結果、事業目標を達成することができたため、事業の有効性も高いと考えている。										
	有効性	■ 高い □ 低い											